

ジョカツ

JOKATSU

わたしのまちの女性活躍・働き方改革事例集



いまこのひと

～女性のチャレンジ賞
受賞 武村 幸奈さん

いまこのひと

～日本で働く外国人女性

いまこの企業

(株)シンコーメタリコン
西村建設(株)
大塚電子(株)
(社福)近江ちいろば会

これからのひと

～「女性のための
起業ミニミニ勉強会」
～「5年後の未来へ」
湖南市役所JK課プロジェクト

社会福祉法人 近江ちいろば会



職員の成長としあわせが 地域社会への貢献に つながる。

滋賀県湖南市菩提寺 327 番地 4
☎ 0748-74-3900
<http://chiiroba.jp/>

職員数 187人（男性 32人、女性 155人）

業種 社会福祉事業

その他 滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業

女性職員が多い福祉業界では働き続けられるための環境整備は不可欠だ。仕事と育児や家庭を両立しながら、働きやすい職場づくりに努め、滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業に登録した。

その一環として、妊娠中や出産後の母子の健康確保や、両立支援のための制度を知らせるハンドブックを独自に作成、対象者へ配布している。また、ハローワークの支援制度等も利用し、産休・育児休業取得からスムーズな職場復帰までを一貫してサポートする。例えば、産休前から職場復帰直前まで、何回か面談を重ね、本人の希望にそった働き方ができるよう、計画をたてる。育児休業中も広報誌を送ったり、職場に子どもを連れて遊びに来よう声をかけたり、一緒に食事に行ったりと、職場とのつながりを大切にしている。復帰してからは、短

時間勤務制度を利用することもできる。

職場の雰囲気の良いさも両立支援の鍵だ。平成 29 年度から、法人内の表彰制度を導入した。永年勤続表彰だけでなく、上司や職場の仲間がお互いの良い所を見つけあい、ジャンルごとに自薦他薦で 16 人を表彰する。やりがいやチームワークの向上がねらいだ。企画室のアイデアだが、各事業所から良い提案があれば、法人として取り組む。

女性の活躍にはキャリアアップも重要だ。研修等を通じて、働きながら資格を取れる支援制度も整っている。法人は、良い仕事ができる環境を整え、職員は誇りをもって働き、地域に貢献する。「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」という基本理念が生きた、地域福祉に貢献する法人としての「働き方改革」のあり方だ。



介護福祉士

高吉 瑠美子 さん (勤続5年)

Interview

湖南省在住。1人目の子どもは2歳で、現在2か月になる2人目の子どもの育児休暇中だ。育児休暇は1人目の時と同じく1年間取る予定だ。

この仕事を選んだきっかけは、母親が介護の仕事をしていても楽しそうだったから。福祉分野に進学し、就活で訪れた、近江ちいさば会の職場の雰囲気と職員の仲の良さに魅かれた。3年の実務経験を経て、働きながら介護福祉士の資格を取得した。

妊娠中も同じ介護の仕事を、身体的に無理なくできるよう、周囲がサポートしてくれた。産休に入る前の面談では、理事長自らが本人の希望を聞き、ライフスタイルにあった働き方ができるよう、配慮してくれた。出産前は夜勤や遅出、早出もあったが、1人目の子の育児後は、保育園の送り迎えがあるので短時間勤務で昼間の時間帯で働いている。

休暇中も、職場の人が、「子どもを連れて遊びに来て」と言ってくれるので、気軽に訪れることができる。復職後も、子育て経験のある上司が「子育てしながら働くのは大変だから何かあったらすぐ相談して。子どもを優先してあげて」と声をかけてくれ、職場全体が何でも相談しやすい雰囲気になり、嬉しかった。

結婚・出産しても、やりがいを持って思い切り働き続けられる職場。後に続く人もそうして自分らしく働き続けてほしい。



理事長 もりぐち しげお
森口 茂 さん

高齢者が、住み慣れた街で暮らせるよう温かみのあるサービスで、地域づくりに貢献しています。

人材は宝物。福祉は人の生きがいや喜びに触れ、自分も人生

の幅を広げ成長していける、やりがいのある仕事です。仕事を通して、職員も事業も法人も成長していける「働きたい法人、No.1」をめざします。

末永く、共に働きましょう！